

# 北方地域ユネスコエコパーク拠点施設整備構想概要版（案）

## 1. 構想策定の目的

2017年6月に「祖母・傾・大崩山ユネスコエコパーク」が登録されました。北方町においては、大崩山のふもとと周辺の上鹿川・下鹿川が緩衝地域に最も近くに位置しています。

そこで、保存機能・学術的研究支援・経済と社会の発展という3つの機能が相互に強化される関係を維持することと併せ、多くの観光客を呼び込むとともに、エコパークを身近に体感できるように、**「北方地域ユネスコエコパーク拠点施設整備構想」**を策定します。

＜祖母・傾・大崩山ユネスコエコパーク＞

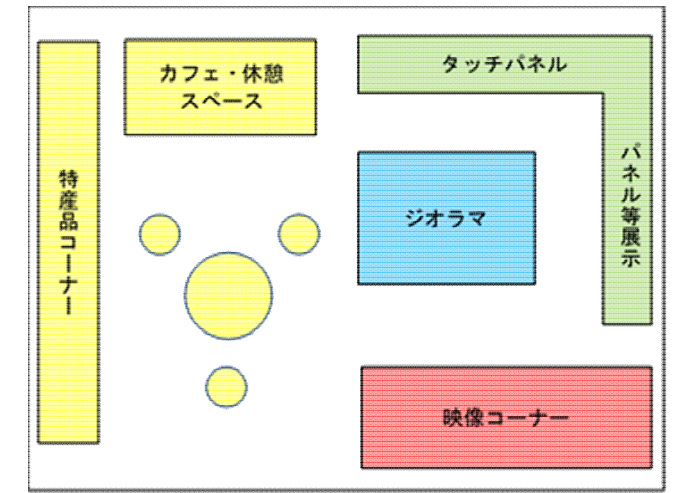


## 3. 拠点施設（鹿川キャンプ場）

「見る」「調べる」「触れる」「くつろぐ」の4つの機能を持ち、展示や映像等コーナー、カフェ・休憩スペース、販売コーナーなどを兼ね備え、ここにただでエコパークのすばらしさを容易に実感することができる**「上鹿川エコパークセンター（仮称）」**を整備します。

上鹿川エコパークセンター（仮称）は、ユネスコエコパークの北方地域（特に上鹿川地区）の自然に関する情報提供や自然とのふれあい拠点施設として、既存施設の有効活用も含めて**鹿川キャンプ場**内に整備します。

＜上鹿川エコパークセンター（仮称）のイメージ＞



## 2. 北方地域ユネスコエコパーク拠点

### 拠点施設

「祖母・傾・大崩山ユネスコエコパーク」において、北方地域においては、核心地域内の大崩山のふもとに位置し、緩衝地域に最も近く、身近にエコパークを体感できる、鹿川キャンプ場周辺を**「拠点施設」**と位置付けます。

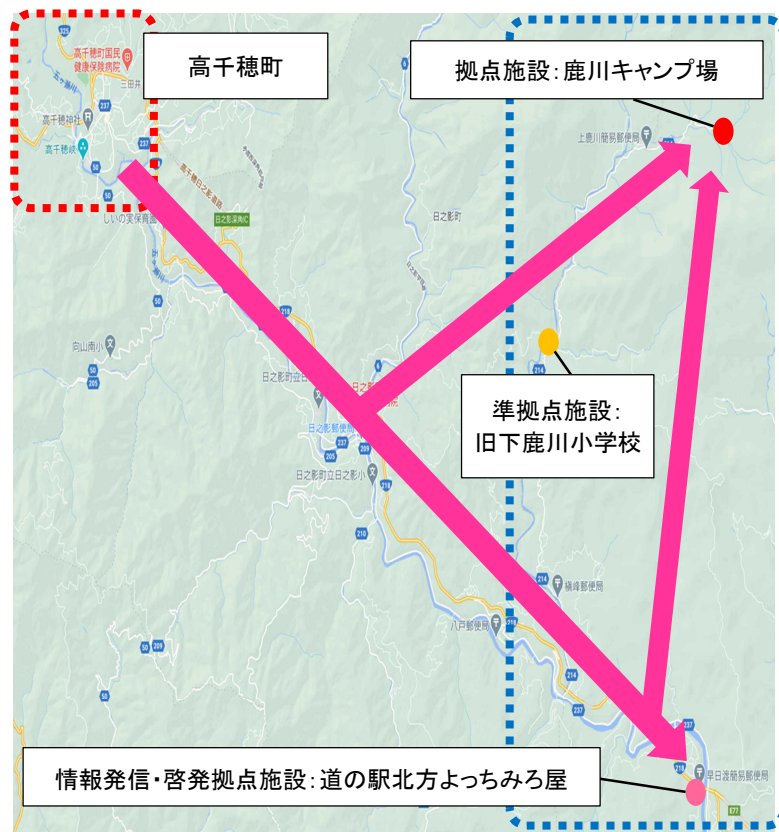
### 準拠点施設

当該ユネスコエコパークまでの道程上にある観光資源等との有機的連携も必要であると考え、ロッククライミングの聖地として愛好家の利用も多い比叡山周辺の下鹿川地区を**「準拠点施設」**と位置付けます。

### 情報発信・啓発拠点施設

当該ユネスコエコパークは、幹線道路から遠方にあることから、是非訪れたいという機運を想起させるため、幹線道路に位置する**「道の駅北方よっちみる屋」**を**「情報発信・啓発拠点施設」**と位置付けます。

＜各拠点施設等の位置及び高千穂町からの誘客のイメージ＞



## 4. 準拠点施設（旧下鹿川小学校）

### 宿泊滞在型の施設・設備の整備

旧下鹿川小学校の校舎をリニューアルして宿泊可能スペース、設備を整備します。  
 (例) 宿泊スペース(2階各教室への2段ベッド等の設置や3階大広間の整備等)、調理室、食堂

＜廃校施設の活用事例 教室を宿泊施設に活用＞



教室を改修して宿泊施設へ。

## 5. 情報発信・啓発拠点施設（道の駅北方よっちみる屋）

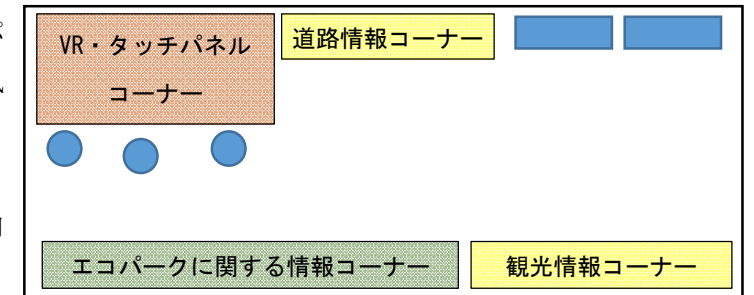
### ・VR体験コーナー

祖母・傾・大崩山ユネスコエコパーク、上鹿川エコパークセンター（仮称）、鹿川地域の四季の行事、風景、産業、生活等の仮想・擬似体験を提供します。

### ・タッチパネルコーナー

観光客のニーズに対応するユネスコエコパーク内各箇所の、風景、生活文化等を紹介・案内します。

＜整備後の情報提供コーナーのイメージ＞



## 6. 啓発

- ①ユネスコエコパークに人を呼ぶための啓発
  - …紙(リーフレット、ポスター等)、マスコットグッズ、のぼり、マスコミ、ホームページ、観察会、SNS等
- ②ユネスコエコパークを安全に利用するための啓発
  - …スマートフォンで使用する登山アプリ